

関東地方は例年より10日ほど早い梅雨入りとなりました。

肌寒い日や、真夏日などが繰り返される不純な気候が続いていますが
会員、賛助会員の皆様にはお元気でご活躍のことと拝察いたしております。

5月24日、東京の日本アイ・ビー・エム本社において定時総会を開催いたしました。

▽24年度事業報告と決算、▽25年度事業計画と予算、▽役員改選、

▽定款変更などを議題といたしました。

具体的な議事録等は次号において報告させて頂き、本号では25年度の事業計画を各委員長から記させて頂きます。

役員改選では日本アイ・ビー・エム様を除く法人正会員の代表者と、個人正会員全員に理事に就任していただきました。

総会を中断して新しい理事による臨時理事会を開き、理事長に秋田敏彰、

副理事長にこれまで専務理事を務めて頂いた小山昌孝氏、

専務理事にこれまで副理事長を務めて頂いた野口和紀氏が選出されました。

事務局長にはスタジオディーンの飯嶋浩次氏が理事会の承認を経て専務理事から任命されました。4つの事業委員長は全て再任となり、再開された総会に新執行体制が報告され承認を得ました。

定款の変更については▽機構の登記住所をデジタルハリウッド様から、
吉祥寺オフィスへ変更することと（デジタルハリウッド様の移転により）、
▽監事の定数を1人から1人以上に変更いたしました。

今回の事務局体制の変更は、登記住所の変更や既に経理業務をお願いしていることなどから、専務理事・事務局長も合わせてスタジオディーン様にお願いすることが、よりスムーズな機構の運営に資することになるとの判断から理事会で決まったものです。

野口社長には大変お手数をおかけすることになりますが宜しくお願ひ致します。

新執行部一同25年度も意欲を新たに取り組んでまいります。

各位におかれましては引き続きご支援、ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

平成25年 5月 吉日
日本コンテンツ振興機構
理事長 秋田 敏彰

技術委員会

技術委員長：鈴木

技術委員会 平成25年度 事業計画

目的

1. セミナーの重要性

クラウドを活用するだけでは、ただ単に価格競争を引き起こすだけになってしまい結果として映像制作における競争力を落としてしまう。クラウドを活用する前段階として制作会社同士で情報交換をし合う「場」をCPO-JPとして提供し見直す「きっかけ」を作る目的。

2. 調査プログラム

昨年度、経産省のプログラムの中で実施した映像制作プロダクションの環境調査は今後の改善の為だけでなく、Autodeskなどのメーカーとクラウドを推進する為に重要なデータになるため、前回の改善をふまえて調査を行う。

3. 経産省&DCAJ

昨年に引き続き事業委員会で検討しているプログラムに参加予定で、今年はより実践的な作業を行いそこで得られたデータを元により具体的な仕様の情報収集を行う。

スケジュール案

		技術委員会	調査プログラム	経産省 & DCAJ
6月	セミナー準備			
7月	セミナー #1	Render管理		
8月	セミナー #2	データ転送	プロダクション環境調査	
9月	セミナー #3	ネットワーク	↓	
10月	セミナー #4	ソフトウェア CG	↓	
11月	セミナー #5	ソフトウェア COMP		実証実験
12月	セミナー #6	ソフトウェア 映像		↓
1月		経産省 PRJの為	→ → → →	↓
2月		経産省 PRJの為	→ → → →	
3月	セミナー #7	実験結果のセミナー		
4月	セミナー #8	PC環境		
5月		来期の計画	プロダクション調査改善	

セミナーのポイント

札幌をターゲットとして教育の交流を視野に入れ、Webinarなどの活用についても挑戦していく。都内で集まった情報を活かす事で、重複する準備作業を低減できる。また、セミナーを開催する中でCPO-JPとして集まる事の有意義な部分を体感してもらい、会員開発のPRとしての役割も持たせる事が狙い。

■ 気になるニュース（技術委員会）

#1. Adobe MAX

<http://plus.adobe-adc.jp/post-2988/>

Adobeが、6/17からCreative Cloudに多くの製品が集約される事を発表しました。クラウドと名前がついてますが、アプリケーションがクラウド化されるという事ではなく、アプリケーション自体は引き続きパソコンのアプリケーションです。ここで、注目したいのはプレゼンテーションの仕方ですね。とても大きなスクリーンを背景に使う事でとてもインパクトのあるプレゼンテーションになっているだけでなく、プレスの画像としてもとても印象的です。

#2. Google IO

<https://developers.google.com/events/io/>

こちらもまた巨大なスクリーンでやっていましたね。こういう所の映像を作るというのも、映像産業の大切なところだと思っています。

また、技術的にも従来はそれぞれの端末に出力して試していた機能も、Android Studioによって複数の解像度をシミュレーションできたり、またGoogleをハブにして翻訳サービスなどを提供して行く事がとても興味深いです。

Android Studio

<http://news.mynavi.jp/column/ide/156/index.html>

アプリの翻訳依頼

http://www.publickey1.jp/blog/13/androidgoogle_io_2013.html

#3. 平成25年度エネルギー使用合理化事業者支援補助事業の公募

<http://sii.or.jp/cutback/first.html>

マシンルームのエアコン交換だったり、LED化だったりと活用できる部分はあるかもしれませんのでこういうのも活用するといいかもですね。

#4. Vimeo On Demand

<https://vimeo.com/creatorservices>

手数料10%で有料販売できるサービスをスタートしています。スマートフォンにも対応していて、なかなか興味深いサービスですね。Vimeoは他の動画サービスと違って、品質の高い映像が配信されているだけに、ブランドとしても価値が高そうです。

#5. Wordの差し込み印刷の活用方法

<http://support.microsoft.com/kb/909132/ja>

絵コンテとか決まったフォーマットで印刷する際に、外部参照で画像を読ませるというのは便利かもしれませんね。

Shotgun Softwareがこんな使い方をしていて、なるほど！と思った使い方。

<https://vimeo.com/58913646>

事業委員会報告

事業委員長：小坂

事業委員会 平成25年度 事業計画

目的

経済産業省「平成24年度我が国情報経済社会における基盤整備事業（コンテンツ制作基盤整備事業）」の実証結果を元に、実際のコンテンツ制作に適用した場合の有用性や課題を明確にし、中央省庁・地方自治体・クラウドサービス事業者などに対してクラウドレンダリングサービスの事業化を促す。

概要

経済産業省に対して「H25年度コンテンツ制作基盤事業」を提案し、事業への参画を通じて、クラウドレンダリングサービス事業の創設を促進。

スケジュール案

6月	経済産業省への提案内容検討	<ul style="list-style-type: none">・実プロジェクト（制作コンテンツ）候補の提案・必要なクラウド資源の提案・候補自治体との内容検討・候補ISPとの内容検討
7月	経済産業省への提案実施	
9月	実プロジェクト実施	クラウドを活用したコンテンツ制作
1月	↓	
2月	実証報告作成	

事務局からのお知らせ

2013年5月24日に第二回CPO-JP定時総会と25年度第一回理事会、臨時理事会が開催されました。臨時理事会において新理事長、新役員、各事業委員長、事務局長が選出されたのでご報告いたします。

理事長：秋田 敏彰

副理事長：小山 昌孝

専務理事：株式会社スタジオディーン 野口 和紀

事業委員会 委員長 日本アイ・ビー・エム株式会社 小坂 哲也

関連事業委員会 委員長 株式会社JTBコーポレートセールス 林 純一

技術委員会 委員長 株式会社白組 鈴木 勝

会員開発委員会 委員長 株式会社ボーンデジタル 村上 徹

事務局長 株式会社スタジオディーン 飯嶋浩次

その他の議題や新理事、新会員等のご報告は次号（NO.12）にてお伝えします。

ご意見・ご感想は下記の事務所までご連絡ください。

編集責任者 専務理事 野口 和紀

日本コンテンツ振興機構 吉祥寺オフィス

〒180-0003 東京都 武蔵野市 吉祥寺南町 4-4-13

TEL : 0422-35-3305

FAX : 0422-70-3307